

第167回 日商簿記検定試験 1級 一商業簿記一 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

1. 総合問題 (仕訳単位：千円)

(1) 法人税、住民税及び事業税

① 整理仕訳

(借) 法人税、住民税及び事業税	8,000	(貸) 仮払法人税等	6,000
		(〃) 未払法人税等	2,000

(2) 自己株式

① 整理仕訳

(借) 自己株式処分差益	370	(貸) その他資本剰余金	400
(〃) 支払手数料	30		

(3) ストック・オプション

① 当期の費用計上額

$20 \text{名} \times 100 \text{個 (SO数)} \times @5.4 \text{円 (公正な評価単価)} = 10,800 \text{千円}$

$10,800 \text{千円} \times 21 \text{ヵ月 (20X3年7月1日} \sim \text{20X5年3月31日)} / 36 \text{ヵ月} - 2,700 \text{千円 (決算整理前残高試算表(以下「前T/B」)・新株予約権)} = 3,600 \text{千円}$

② 整理仕訳

(借) 株式報酬費用	3,600	(貸) 新株予約権	3,600
------------	-------	-----------	-------

③ 残高勘定の金額

☆ 新株予約権：2,700千円 (前T/B) + 3,600千円 (株式報酬費用) = 6,300千円

(4) 投資有価証券

① 売却損益

(a) 売却原価

$300 \text{株 (売却株式数)} \times @22 \text{千円 (取得原価)} = 6,600 \text{千円}$

(b) 売却損益

$7,200 \text{千円 (前T/B・仮受金)} - 6,600 \text{千円 (売却原価)} = 600 \text{千円 (売却益)}$

(c) 整理仕訳

(借) 仮受金	7,200	(貸) 投資有価証券	6,600
		(〃) 投資有価証券売却益	600

② 時価評価

(a) 時価評価差額

$700 \text{株 (期末保有株式数)} \times \{ @25 \text{円 (期末時価)} - @22 \text{円 (取得原価)} \} = 2,100 \text{千円 (評価益)}$

(b) 整理仕訳

(借) 投資有価証券	2,100	(貸) その他有価証券評価差額金	2,100
------------	-------	------------------	-------

③ 残高勘定の金額

☆ 投資有価証券：22,000千円 (前T/B) - 6,600千円 (売却原価) + 2,100千円 (その他有価証券評価差額金)

= 17,500千円

(5) ソフトウェア

① 前期支出分に係る費用計上額

21,000 円 (前T/B・ソフトウェア) × 12 カ月 (当期月数) / 42 カ月 (未償却月数) = 6,000 千円

② 当期支出分に係る費用計上額

4,800 千円 (一般管理費計上額) × 6 カ月 (20X4年10月1日~20X5年3月31日) / 36 カ月 (未償却月数) = 800 千円

③ 当期の費用計上額

①+②=6,800 千円

④ 整理仕訳

(借) ソフトウェア償却費	6,800	(貸) 一般管理費	4,800
		(//) ソフトウェア	2,000

⑤ 残高勘定の金額

☆ ソフトウェア : 21,000 千円 (前T/B) - 2,000 千円 (当期償却額) = 19,000 千円

⑥ 損益計算書の金額

★ 一般管理費 : 22,800 千円 (前T/B) - 4,800 千円 (当期償却額) = 18,000 千円

(6) 退職給付引当金

① 前期末の退職給付債務

100,000 千円 (退職給付見込額) ÷ 10 年 (全勤務期間) × 4 年 (20X0 年度期首~20X3 年度期末) × 0.88797 (6 年の現価係数) = 35,519 千円

② 当期末の退職給付債務

100,000 千円 (退職給付見込額) ÷ 10 年 (全勤務期間) × 5 年 (20X0 年度期首~20X4 年度期末) × 0.90573 (5 年の現価係数) = 45,287 千円

③ 当期の費用計上額

②-①=9,768 千円

④ 整理仕訳

(借) 退職給付費用	9,768	(貸) 退職給付引当金	9,768
------------	-------	-------------	-------

⑤ 残高勘定の金額

☆ 退職給付引当金 : 35,519 千円 (前T/B) + 9,768 千円 (退職給付費用) = 45,287 千円

(7) 有形固定資産

① 減価償却

	取得原価	減価償却費	期末減価償却累計額	期末帳簿価額	備考
建物 B	250,000 千円	12,500 千円	62,500 千円	187,500 千円	(注1)
建物 C	180,000 千円	15,000 千円	60,000 千円	120,000 千円	(注2)
備品	9,000 千円	900 千円	1,800 千円	7,200 千円	(注3)
車両運搬具	12,000 千円	3,600 千円	3,600 千円	8,400 千円	(注4)

(注1) 建物B

$$250,000 \text{ 千円 (取得原価)} \times (1 \div 20 \text{ 年 (耐用年数)}) = 12,500 \text{ 千円 (1年間の減価償却費)}$$

$$12,500 \text{ 千円} \times 5 \text{ 年 (20X0年4月} \sim \text{20X5年3月)} = 62,500 \text{ 千円 (期末減価償却累計額)}$$

(注2) 建物C

$$180,000 \text{ 千円 (取得原価)} \times (1 \div 12 \text{ 年 (耐用年数)}) \doteq 15,000 \text{ 千円 (1年間の減価償却費)}$$

$$15,000 \text{ 千円} \times 4 \text{ 年 (20X1年4月} \sim \text{20X5年3月)} = 60,000 \text{ 千円 (期末減価償却累計額)}$$

(注3) 備品

$$9,000 \text{ 千円 (取得原価)} \times (1 \div 10 \text{ 年 (耐用年数)}) = 900 \text{ 千円 (1年間の減価償却費)}$$

$$900 \text{ 千円} \times 2 \text{ 年 (20X3年4月} \sim \text{20X5年3月)} = 1,800 \text{ 千円 (期末減価償却累計額)}$$

(注4) 車両運搬具

$$12,000 \text{ 千円 (取得原価)} \times (1 \div 5 \text{ 年 (耐用年数)} \times 200\%) \times 9 \text{ ヶ月 (20X4年7月} \sim \text{20X5年3月)} / 12 \text{ ヶ月} = 3,600 \text{ 千円 (当期の減価償却費)}$$

② 減損処理

(a) 認識

・帳簿価額

$$30,000 \text{ 千円 (土地)} + 120,000 \text{ 千円 (建物C)} + 7,200 \text{ 千円 (備品)} = 157,200 \text{ 千円}$$

・割引前将来キャッシュ・フロー

$$15,000 \text{ 千円 (各年度の使用による将来キャッシュフロー)} \times 8 \text{ 年} + 30,000 \text{ 千円 (最終処分価額)} = 150,000 \text{ 千円}$$

・判定

$$157,200 \text{ 千円 (帳簿価額)} > 150,000 \text{ 千円 (割引前将来キャッシュ・フロー)} \quad \therefore \text{減損損失を認識する}$$

(b) 測定

・正味売却価額

$$140,000 \text{ 千円 (見積処分価額)} - 6,380 \text{ 千円 (処分費用)} = 133,620 \text{ 千円}$$

★使用価値

$$15,000 \text{ 千円 (各年度の使用による将来キャッシュフロー)} \times 5.33493 \text{ (期間8年の年金現価係数)} + 30,000 \text{ 千円 (最終処分価額)} \times 0.46651 \text{ (期間8年の現価係数)} \doteq 94,019 \text{ 千円}$$

・回収可能価額

$$133,620 \text{ 千円 (正味売却価額)} > 94,019 \text{ 千円 (使用価値)} \quad \therefore 133,620 \text{ 千円}$$

・減損損失

$$157,200 \text{ 千円 (帳簿価額)} - 133,620 \text{ 千円 (回収可能価額)} = 23,580 \text{ 千円}$$

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{土地} : 23,580 \text{ 千円 (減損損失)} \times 30,000 \text{ 千円 (帳簿価額)} / 157,200 \text{ 千円 (帳簿価額総額)} = 4,500 \text{ 千円} \\ \text{建物C} : 23,580 \text{ 千円 (減損損失)} \times 120,000 \text{ 千円 (帳簿価額)} / 157,200 \text{ 千円 (帳簿価額総額)} = 18,000 \text{ 千円} \\ \text{備品} : 23,580 \text{ 千円 (減損損失)} \times 7,200 \text{ 千円 (帳簿価額)} / 157,200 \text{ 千円 (帳簿価額総額)} = 1,080 \text{ 千円} \end{array} \right.$$

③ 整理仕訳

(借) 減 価 償 却 費	32,000	(貸) 建物減価償却累計額	27,500
		(〃) 備品減価償却累計額	900
		(〃) 車両運搬具減価償却累計額	3,600
(借) 減 損 損 失	23,580	(貸) 土 地	4,500
		(〃) 建 物	18,000
		(〃) 備 品	1,080

④ 残高勘定の金額

- ☆ 建物：430,000千円（前T/B）－18,000千円（減損損失）＝412,000千円
- ☆ 備品：9,000千円（前T/B）－1,080千円（減損損失）＝7,920千円
- ☆ 土地：500,000千円（前T/B）－4,500千円（減損損失）＝495,500千円
- ☆ 建物減価償却累計額：95,000千円（前T/B）＋27,500千円（減価償却費）＝122,500千円
- ☆ 備品減価償却累計額：900千円（前T/B）＋900千円（減価償却費）＝1,800千円

⑤ 損益計算書の金額

- ★ 減価償却費：12,500千円（建物B）＋15,000千円（建物C）＋900千円（備品）＋3,600千円（車両運搬具）＝32,000千円

(8) カスタマー・ロイヤルティ・プログラム

① 売上及び契約負債計上額

収 益 認 識		商 品 販 売	ポイント利用に係る商品販売
STEP1	顧客との契約を識別する。	同一の契約	
STEP2	契約における履行義務を識別する。	履行義務	履行義務
STEP3	取引価格を算定する。	21,500千円	
STEP4	契約における履行義務に取引価格を配分する。	(独立販売価格：21,500千円) 配分額：20,000千円	(独立販売価格：1,613千円※1) 配分額：1,500千円
STEP5	履行義務を充足した時又は充足するにつれて収益を認識する。	20,000千円	—※2

・STEP4：STEP3の取引価格を独立販売価格にもとづいて配分する。

※1：21,500千円（販売価格）×10%（ポイント付与分）×75%（利用見込割合）≒1,613千円

※2：契約負債計上

② クレジットカード会社に対する手数料

21,500千円×2%＝430千円

③ 整理仕訳

(借) クレジット売掛金	21,070	(貸) 売 上	20,000
(〃) 支払手数料	430	(〃) 契約負債	1,500

④ 残高勘定の金額

- ☆ クレジット売掛金：64,930千円（前T/B）＋21,070千円（未処理）＝86,000千円
- ☆ 契約負債：5,600千円（前T/B）＋1,500千円（未処理）＝7,100千円

⑤ 損益計算書の金額

★ 売上：540,000 千円 (前T/B) + 20,000 千円 (未処理) = 560,000 千円

★ 支払手数料：4,600 千円 (前T/B) + 30 千円 (自己株式支払手数料) + 430 千円 (クレジット売掛金に係る手数料) = 5,060 千円

(9) 貸倒引当金

① 貸倒引当金

80,000 千円 (売掛金残高) × 1% + 86,000 千円 (クレジット売掛金残高) × 0.5% = 1,230 千円

② 貸倒引当金繰入額

1,230 千円 - 500 千円 (前T/B) = 730 千円

③ 整理仕訳

(借) 貸倒引当金繰入額	730	(貸) 貸倒引当金	730
--------------	-----	-----------	-----

④ 残高勘定の金額

☆ 貸倒引当金：500 千円 (前T/B) + 730 千円 (貸倒引当金繰入額) = 1,230 千円

(10) 売価還元法

① 原価率

50,000 千円 (前T/B・繰越商品) + 400,000 千円 (前T/B・仕入)

70,000 千円 (商品期首棚卸売価) + 400,000 千円 (前T/B・仕入) + 145,000 千円 (原始値入額) + 10,000 千円 (値上額) = 0.72

② 期末実地棚卸

58,000 千円 (商品期末実地棚卸売価) × 0.72 = 41,760 千円

③ 整理仕訳

(借) 仕入	50,000	(貸) 繰越商品	50,000
(〃) 繰越商品	41,760	(〃) 仕入	41,760

④ 損益計算書の金額

★ 売上原価：400,000 千円 (前T/B・仕入) + 50,000 千円 (前T/B・繰越商品) - 41,760 千円 (期末商品実地棚卸高) = 408,240 千円

(11) 繰越利益剰余金

265,000 千円 (前T/B) - 2,178 千円 (当期純損失) = 262,822 千円



## 2. 連結会計

### (1) 資本連結（連結修正単位：千円）

#### ① 子会社の土地の時価評価

土 地	3,000	評 価 差 額	3,000
-----	-------	---------	-------

#### ② 取得関連費用

取 得 関 連 費 用	2,000	関 係 会 社 株 式	2,000
-------------	-------	-------------	-------

#### ③ 投資と資本の相殺

資 本 金 当 期 首 残 高	30,000	関 係 会 社 株 式	50,000
資 本 剰 余 金 当 期 首 残 高	10,000	非 支 配 株 主 持 分 当 期 首 残 高	10,600
利 益 剰 余 金 当 期 首 残 高	10,000		
評 価 差 額	3,000		
の れ ん	7,600		

#### ④ 解答の金額

- ★ 資本剰余金：100,400千円（P社）＋10,000千円（S社）－10,000千円（投資と資本の相殺）＝100,400千円
- ★ 土地：495,500千円（P社）＋25,000千円（S社）＋3,000千円（評価差額）＝523,500千円
- ★ のれん：7,600千円（支配獲得時）－7,600千円（支配獲得時）÷10年（償却期間）×2年（20X3年度・20X4年度）＝6,080千円

### (2) S社からP社への商品販売（アップ・ストリーム）

#### ① 内部取引の相殺

売 上 高	85,000	売 上 原 価	85,000
-------	--------	---------	--------

#### ② 未実現利益の消去

売 上 原 価	900	棚 卸 資 産	900
非 支 配 株 主 持 分 当 期 変 動 額	180	非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	180

- ※ 利益率：54,000千円（売上総利益）/180,000千円（売上高）×100＝30%
- ※ 未実現利益：3,000千円（期末商品）×30%＝900千円
- ※ 非支配株主に帰属する当期純利益：900千円×20%（非・株の持分割合）＝180千円

#### ③ 解答の金額

- ★ 棚卸資産：41,760千円（P社）＋28,000千円（S社）－900千円（未実現損益）＝68,860千円
- ★ 売上高：560,000千円（P社）＋180,000千円（S社）－85,000千円（内部取引の相殺）＝655,000千円
- ★ 売上原価：408,240千円（P社）＋126,000千円（S社）－85,000千円（内部取引の相殺）＋900千円（S社）＝450,140千円

### (3) 解答の各金額

- ★ 非支配株主持分：(30,000千円（20X4年度末・資本金）＋10,000千円（20X4年度末・資本剰余金）＋12,400千円（20X4年度末・利益剰余金）＋3,000千円（評価差額）×20%（非・株の持分割合）－180千円（未実現損益）＝10,900千円
- ★ 利益剰余金：262,822千円（P社）＋(12,400千円（20X4年度末・利益剰余金）－10,000千円（20X2年度末・利益剰余金）×80%（P社の持分割合）－2,000千円（取得関連費用）－1,520千円（のれん償却）－720千円（未実現損益）＝260,502千円

(4) その他の包括利益

	取得		20X4年3/31		20X5年3/31
＜P社保有＞					
期中売却分 (300株)	6,600千円	その他有価証券評価差額金 △600千円	6,000千円	売却	7,200千円
				当期発生額 1,200千円	
				組替調整額	
			600千円		
期末保有分 (700株)	15,400千円	その他有価証券評価差額金 △1,400千円	14,000千円	その他有価証券評価差額金 3,500千円	17,500千円
				当期発生額 3,500千円	

★ その他の包括利益：4,700千円（当期発生額）－600千円（組替調整額）＝4,100千円